

2022年（令和4年）9月1日（金）

令和5年度沖縄県スポーツ少年団バレーボール交流大会  
第21回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会予選

<代表者会議資料>

①推薦要項、②開催要項、

「ドリームカップ2023

第17回 ジュニアオールスターバレーボールフェスタ in 佐賀」

<推薦要項>

沖縄県小学生バレーボール連盟

1. 目的

- (1) 他県との交流が少ない本県の子供達に、その機会を提供すると同時に、夢や目標に向かってチャレンジする尊さを学ばせる機会とする。
- (2) 本県の小学生バレーボールの競技力を向上させると共に、スポーツマンシップやマナー等を学ぶ機会とする。
- (3) バレーボールを通して本土チームとの交流を持つことによって、選手児童には、チーム内及び他チームとの友情を育てる機会とすると共に、指導者には、指導者としての資質を高める機会とする。

2. 経緯

- 2007年第1回大会・・・大宮クラブ
- 2008年第2回大会・・・当山クラブ
- 2009年第3回大会・・・児童オリンピック上位チーム 男女各2チーム
- 2010年第4回大会・・・男子2チーム・女子4チームを推薦（口蹄疫のためスポ少九州（鹿児島）大会中止のため
- 推薦中止
- 2013年～2019年・・・北海道小連との交流大会へ推薦男子2チーム  
※スポ少県大会男子の部優勝・準優勝の2チーム
- 交流中止
- 2022年第16回大会・・・都道府県大会ベスト8の男女4チーム
- 2023年第17回大会・・・スポ少県大会ベスト4チームの推薦

2. 推薦チーム選考方法

- (1) スポーツ少年団沖縄県大会の男女ベスト4のチーム（男子4チーム・女子3チーム計7チーム）を優先的に推薦する。  
※女子の1位は。スポ少全国大会へ派遣。

※6月に開催された都道府県大会におけるベスト4（全国大会・九州大会出場チーム）のチームも参加可能。

※次年度から、女子の部に離島地区（国頭・宮古・八重山）を設け、男女各4チームを推薦する予定。

- (2) ベスト4チームから辞退チームが出た場合、希望チームを募り、辞退した数だけのチームを抽選で選考する。
- (3) 希望チームは、大会最終日に、参加希望の有無を理事長へ申し込むこと。

### 3. 方針

- (1) 推薦チームは、沖縄県代表として位置づけるが、沖小連としての団は組織せず、それぞれのチームで旅行社を選定し、チーム代表者及び保護者は、安全な大会参加になるように責任を持って対応すること。
- (2) 「スポーツ少年団九州大会」が開催される年は、男子のみの推薦とし、女子のチームは推薦しないこととする。  
※令和7年度の九州スポーツ少年団大会（鹿児島県）において、女子のバレーボールが行われる予定。
- (3) 可能な限り、児童が学校を欠席・早退することなく参加できるように、日程・行程を工夫すること。ただし、学校長の許可があれば、その限りではない。
- (4) 事前に、代表者会議において、開催要項案を配布するので、十分に父母会との話し合いを持ち、内容を理解しておくこと。  
尚、大会最終日に、理事長による説明会をもつのでチーム代表者2名（監督・父母代表者）は必ず参加すること。
- (5) 本大会の視察（主催者へのあいさつ）及びチーム激励のために、沖小連役員を2名を派遣する。
- (6) 推薦チームには、沖小連「推薦証」を発行する。